

## 參考資料

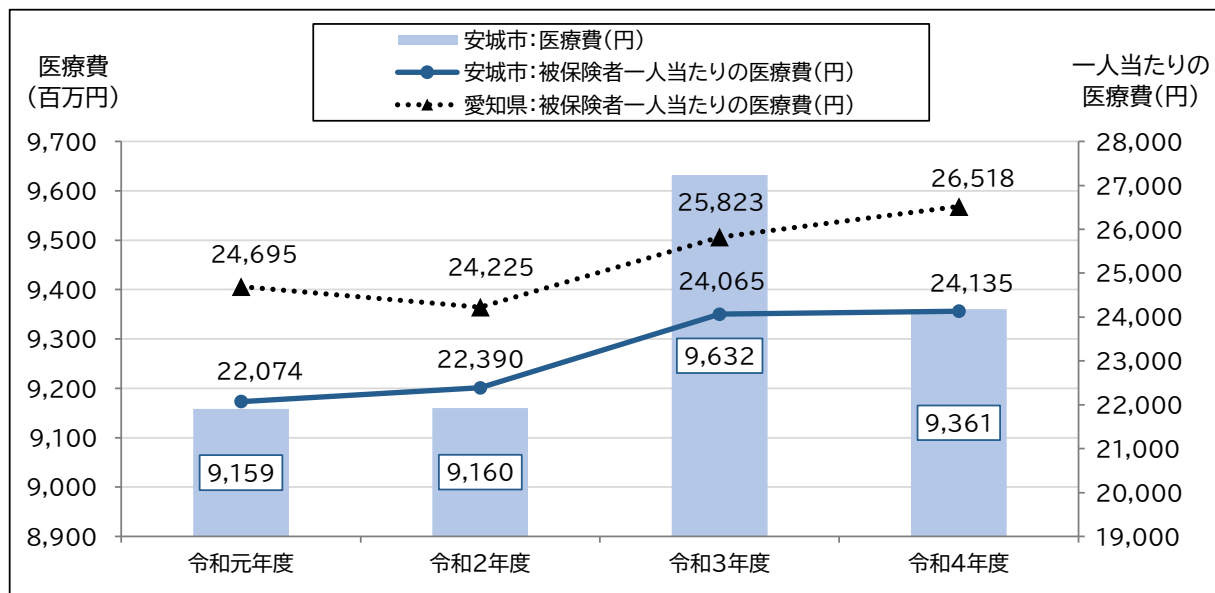
# 健康・医療情報等の分析

## 1.医療費の基礎集計

### (1)医療費の状況

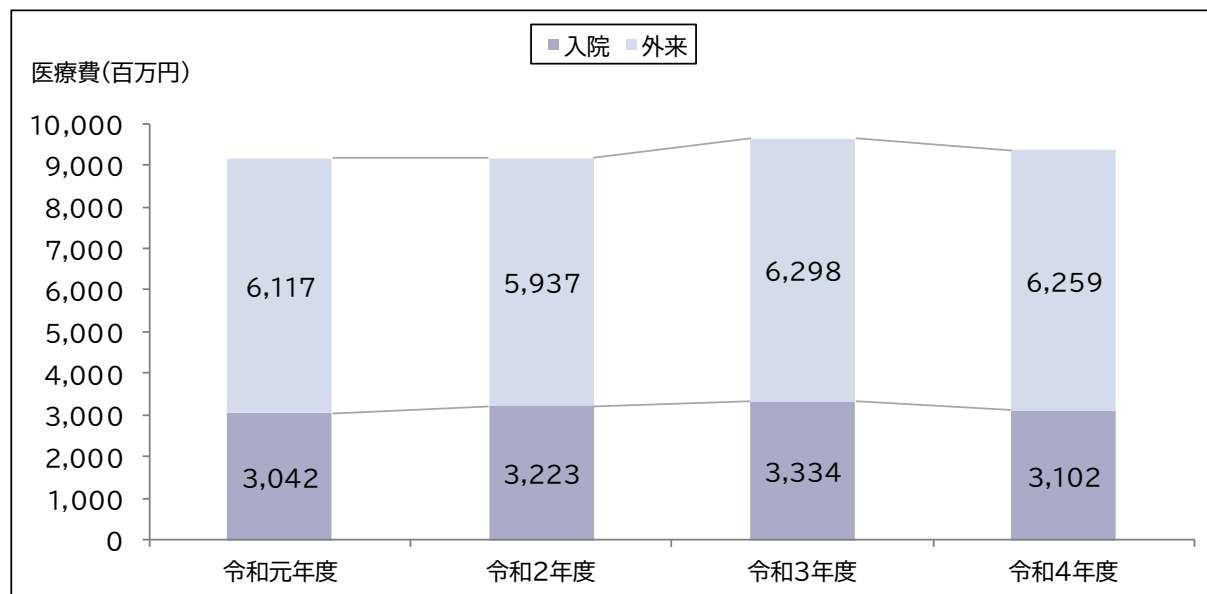
本市の医療費の状況を示したものです。

#### 年度別 医療費の状況



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」  
被保険者一人当たりの医療費…1か月分相当。

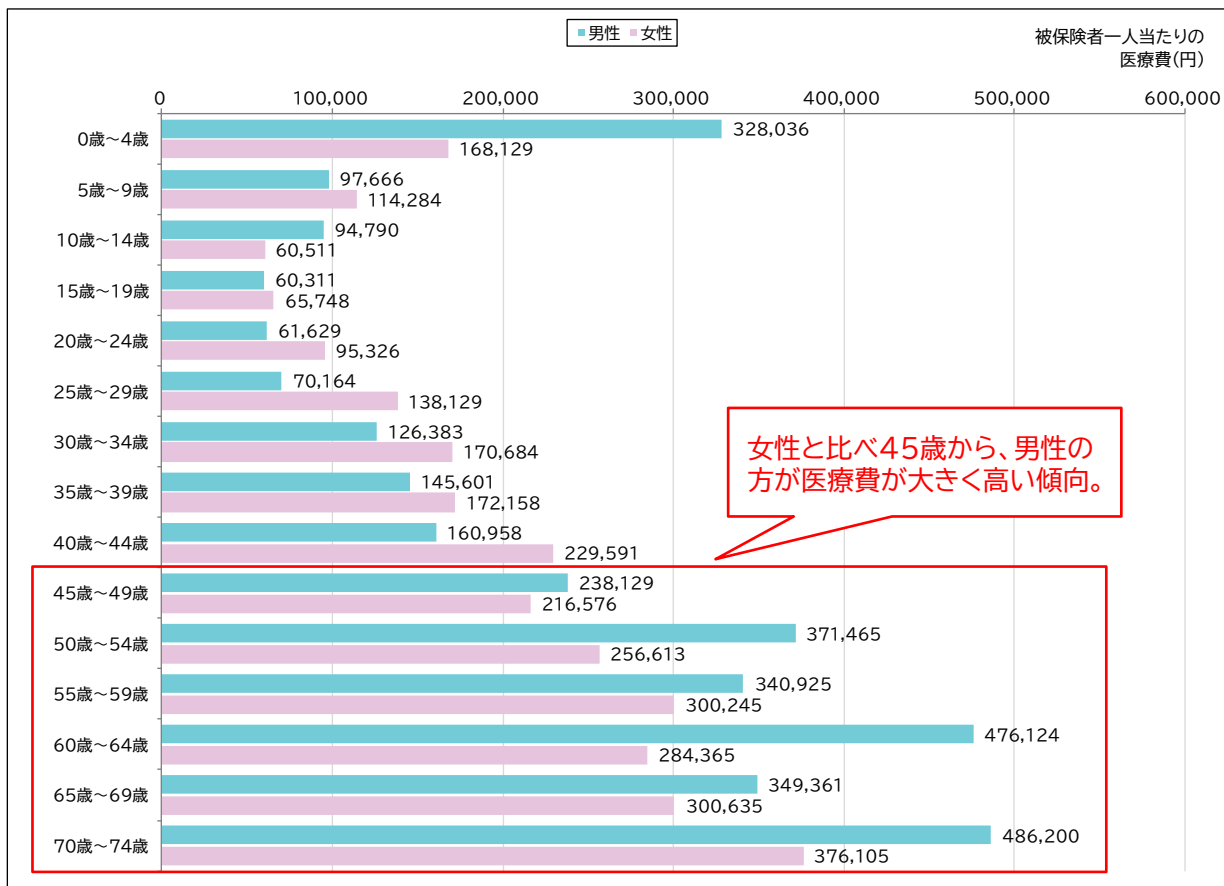
#### 年度別 入院・外来別医療費



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

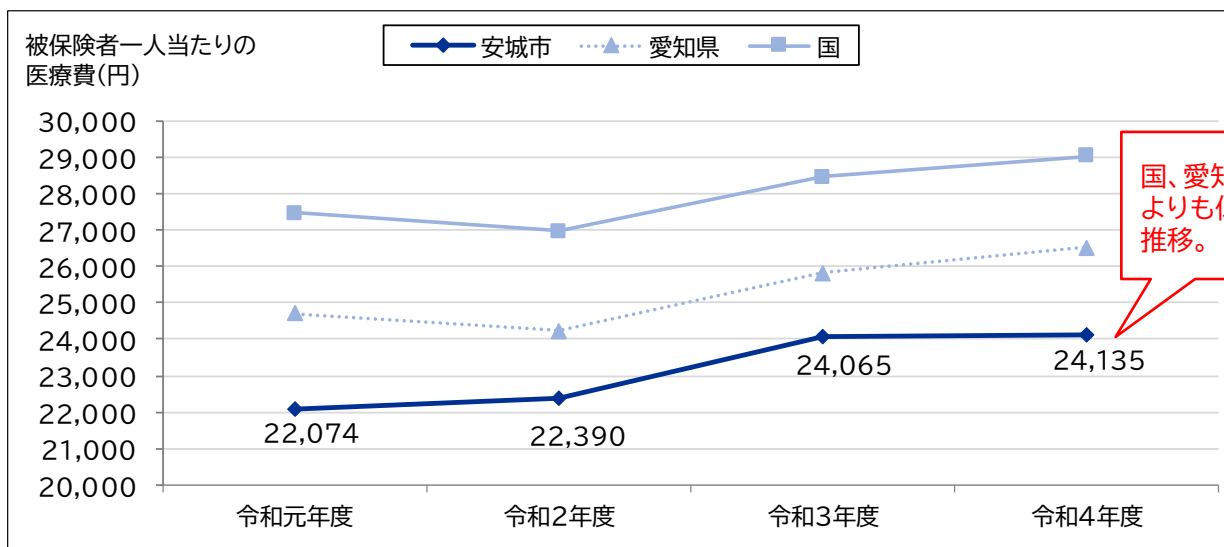
令和4年度における、本市の被保険者一人当たりの医療費を男女年齢階層別に示したものです。

### 男女年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(大分類)」

### 年度別 被保険者一人当たりの医療費



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」  
被保険者一人当たりの医療費…1か月分相当。

## (2)基礎統計

当医療費統計は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)のレセプト(診療報酬明細書)データを対象とし、分析したものです。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下のとおりです。

### 基礎統計

		12か月平均	年間
A	被保険者数(人)	31,755	
B	レセプト件数(件)	入院外	23,519
		入院	411
		調剤	12,882
		合計	36,812
C	医療費(円)※	776,081,528	9,312,978,340
D	患者数(人)※	16,467	197,603
C/A	被保険者1人当たりの医療費(円)	24,440	
C/B	レセプト1件当たりの医療費(円)	21,082	
C/D	患者1人当たりの医療費(円)	47,130	
D/A	有病率(%)	51.9%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

## (3)高額レセプトの件数及び割合

令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下のとおり集計しました。高額レセプトはレセプト件数全体の割合は0.7%ですが、医療費医療費全体の32.2%を占めています。

### 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合(12か月平均)

A	レセプト件数(件)	36,812
B	高額レセプト件数(件)	244
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%
C	医療費(円)※	776,081,528
D	高額レセプトの医療費(円)※	250,028,234
E	その他レセプトの医療費(円)※	526,053,294
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	32.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

#### (4)高額レセプト発生患者の疾病傾向

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)の高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に示したものです。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者数が多い疾病分類は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」「その他の消化器系の疾患」「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の消化器系の疾患」等となっています。

#### 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 頭頸部癌	153	248,971,530	341,778,160	590,749,690	3,861,109
2	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺腺癌, 下葉肺癌, 上葉肺癌	76	107,151,280	256,111,930	363,263,210	4,779,779
3	1113	その他の消化器系の疾患	急性虫垂炎, 鼠径ヘルニア, クローン病	66	78,257,510	44,849,950	123,107,460	1,865,265
4	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 持続性心房細動, 非弁膜症性持続性心房細動	60	150,062,470	22,669,460	172,731,930	2,878,866
5	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 裂孔原性網膜剥離, 黄斑円孔	55	47,712,760	18,838,960	66,551,720	1,210,031
6	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 大腿骨転子部骨折	54	90,789,700	20,603,850	111,393,550	2,062,844
7	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 術後乳癌	52	38,636,280	84,848,710	123,484,990	2,374,711
8	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	49	97,092,920	181,106,350	278,199,270	5,677,536
9	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣腫瘍, 壁内子宮平滑筋腫, 骨髄異形成症候群	44	67,981,570	26,948,650	94,930,220	2,157,505
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 妄想型統合失調症, 型分類困難な統合失調症	44	147,535,240	12,548,420	160,083,660	3,638,265
11	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 急性下壁心筋梗塞	43	85,315,900	21,753,260	107,069,160	2,489,980
12	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 両側性原発性膝関節症	39	80,211,400	14,605,450	94,816,850	2,431,201
13	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞・急性期, アテローム血栓性脳梗塞, 心原性脳塞栓症	38	90,139,750	8,245,600	98,385,350	2,589,088
14	1111	胆石症及び胆のう炎	急性胆のう炎, 胆のう結石症, 胆石性急性胆のう炎	34	31,890,150	9,767,500	41,657,650	1,225,225
15	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 特発性間質性肺炎, 膿胸	33	79,460,110	29,572,400	109,032,510	3,304,015
16	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 頸椎後縦靭帯骨化症	32	80,685,170	13,602,670	94,287,840	2,946,495
17	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 胃前庭部癌	28	34,540,450	41,725,640	76,266,090	2,723,789
18	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部癌, 直腸神経内分泌腫瘍	26	67,977,290	22,544,210	90,521,500	3,481,596
19	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 上行結腸癌, 盲腸癌	24	44,834,930	29,759,410	74,594,340	3,108,098
20	0402	糖尿病	2型糖尿病, 2型糖尿病性高血糖高浸透圧症候群, 2型糖尿病性ケトアシドーシス	23	24,517,100	10,528,850	35,045,950	1,523,737

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

…生活習慣病の疾病に色付け

## 2. 疾病別医療費

### (1) 中分類による疾病別医療費統計

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数の各項目の上位10疾病を示したものです。

#### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	658,660,509	7.1%	3,019	218,172
2	0402 糖尿病	521,291,565	5.6%	8,451	61,684
3	1113 その他の消化器系の疾患	419,765,387	4.5%	8,555	49,067
4	0903 その他の心疾患	372,110,486	4.0%	5,045	73,758
5	0901 高血圧性疾患	352,344,051	3.8%	10,167	34,656
6	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	340,274,689	3.7%	519	655,635
7	1402 腎不全	339,447,832	3.7%	1,512	224,503
8	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	288,858,861	3.1%	1,102	262,122
9	0403 脂質異常症	287,641,014	3.1%	9,222	31,191
10	0606 その他の神経系の疾患	286,622,738	3.1%	5,575	51,412

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

…生活習慣病の疾病に色付け

#### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0901 高血圧性疾患	352,344,051	10,167	33.9%	34,656
2	0703 屈折及び調節の障害	35,898,270	9,280	30.9%	3,868
3	0403 脂質異常症	287,641,014	9,222	30.7%	31,191
4	1113 その他の消化器系の疾患	419,765,387	8,555	28.5%	49,067
5	0402 糖尿病	521,291,565	8,451	28.2%	61,684
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	270,293,794	8,227	27.4%	32,854
7	1006 アレルギー性鼻炎	99,721,786	8,106	27.0%	12,302
8	2220 その他の特殊目的用コード	150,140,637	7,716	25.7%	19,458
9	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	142,205,191	7,260	24.2%	19,587
10	1202 皮膚炎及び湿疹	104,945,490	6,815	22.7%	15,399

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

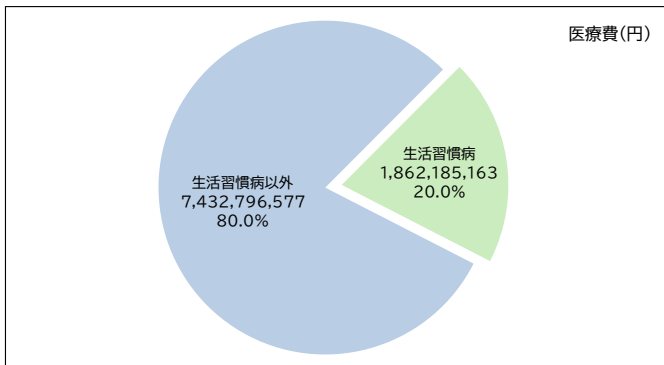
…生活習慣病の疾病に色付け

### 3.生活習慣病に係る医療費等の状況

#### (1)生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)のレセプトより、疾病分類表における中分類単位で生活習慣病と生活習慣病以外の医療費を集計したものです。ここでは、生活習慣病の基礎疾患(糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患)及び生活習慣病に係る重症化疾患を生活習慣病とし集計しました。

#### 医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

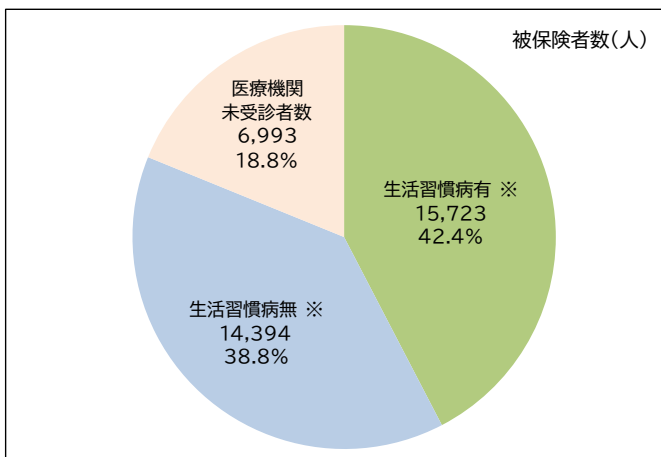
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

生活習慣病で医療機関を受診している患者数は15,723人で、被保険者全体に占めるその割合は42.4%です。

#### 被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

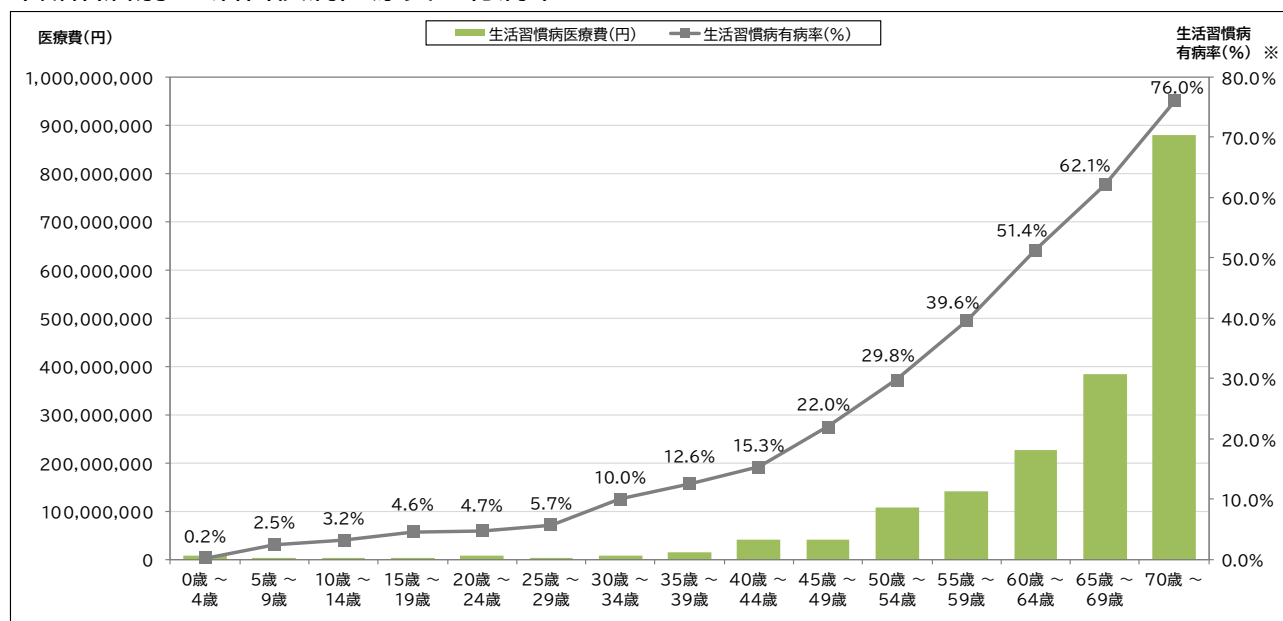
※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

以下は、年齢階層別の生活習慣病医療費と有病率を示したものです。年齢階層が上がるにつれて患者数が増え、医療費が増大する傾向にあります。

### 年齢階層別 生活習慣病医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有病率…被保険者数に占める生活習慣病患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全



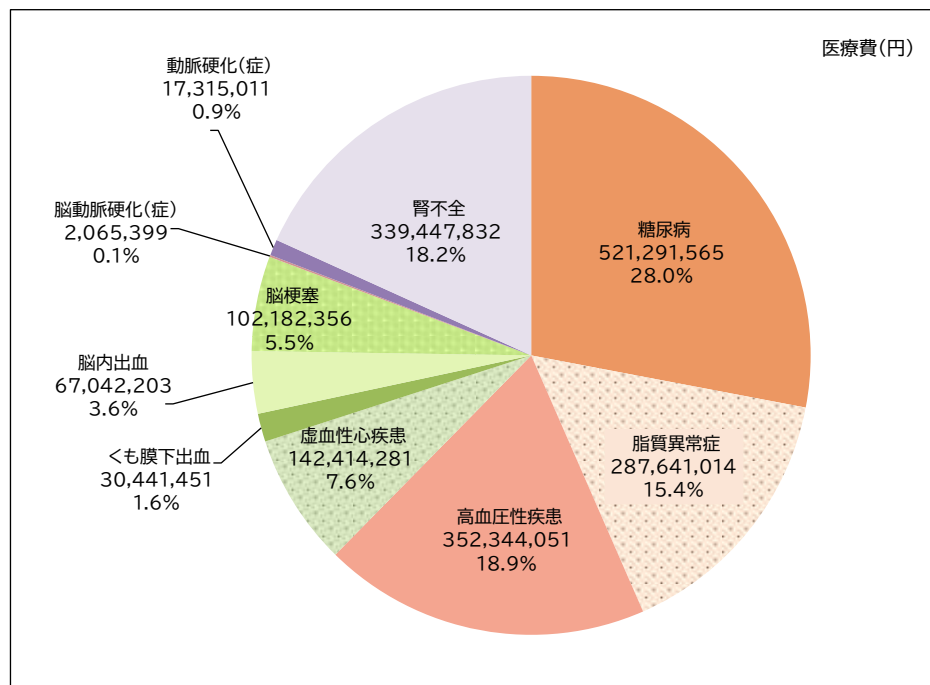
## (2)生活習慣病疾病別医療費等の状況

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)における、生活習慣病疾病別の医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、有病率を示したものです。

### 生活習慣病疾病別 医療費統計

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	521,291,565	28.0%	1	8,451	22.8%	3	61,684	5
0403 脂質異常症	287,641,014	15.4%	4	9,222	24.9%	2	31,191	8
0901 高血圧性疾患	352,344,051	18.9%	2	10,167	27.4%	1	34,656	7
0902 虚血性心疾患	142,414,281	7.6%	5	2,935	7.9%	4	48,523	6
0904 くも膜下出血	30,441,451	1.6%	8	77	0.2%	10	395,344	1
0905 脳内出血	67,042,203	3.6%	7	331	0.9%	9	202,544	3
0906 脳梗塞	102,182,356	5.5%	6	1,430	3.9%	6	71,456	4
0907 脳動脈硬化(症)	2,065,399	0.1%	10	380	1.0%	8	5,435	10
0909 動脈硬化(症)	17,315,011	0.9%	9	935	2.5%	7	18,519	9
1402 腎不全	339,447,832	18.2%	3	1,512	4.1%	5	224,503	2
合計	1,862,185,163			15,723	42.4%		118,437	

### 生活習慣病疾病別 医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

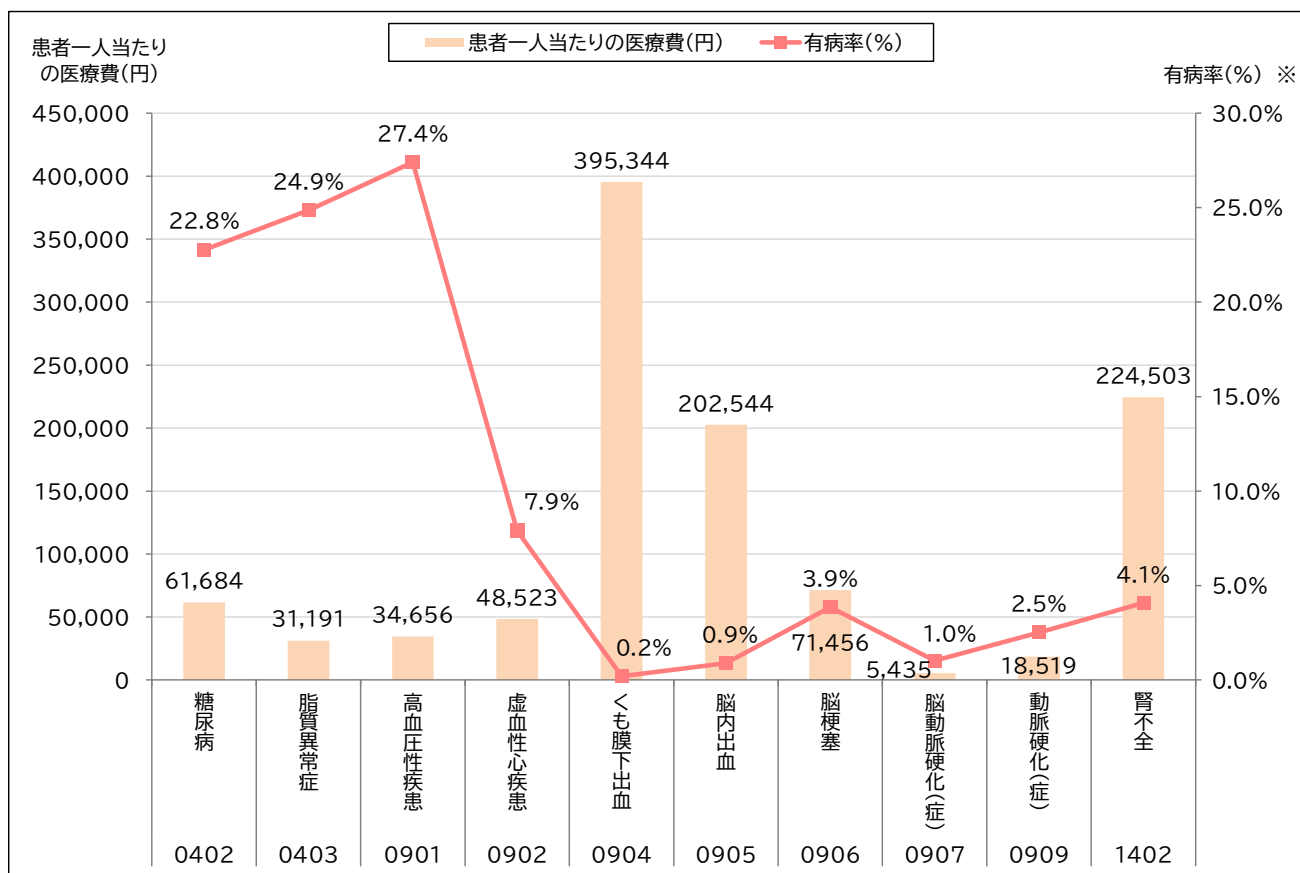
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

## 生活習慣病疾病別 患者一人当たりの医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

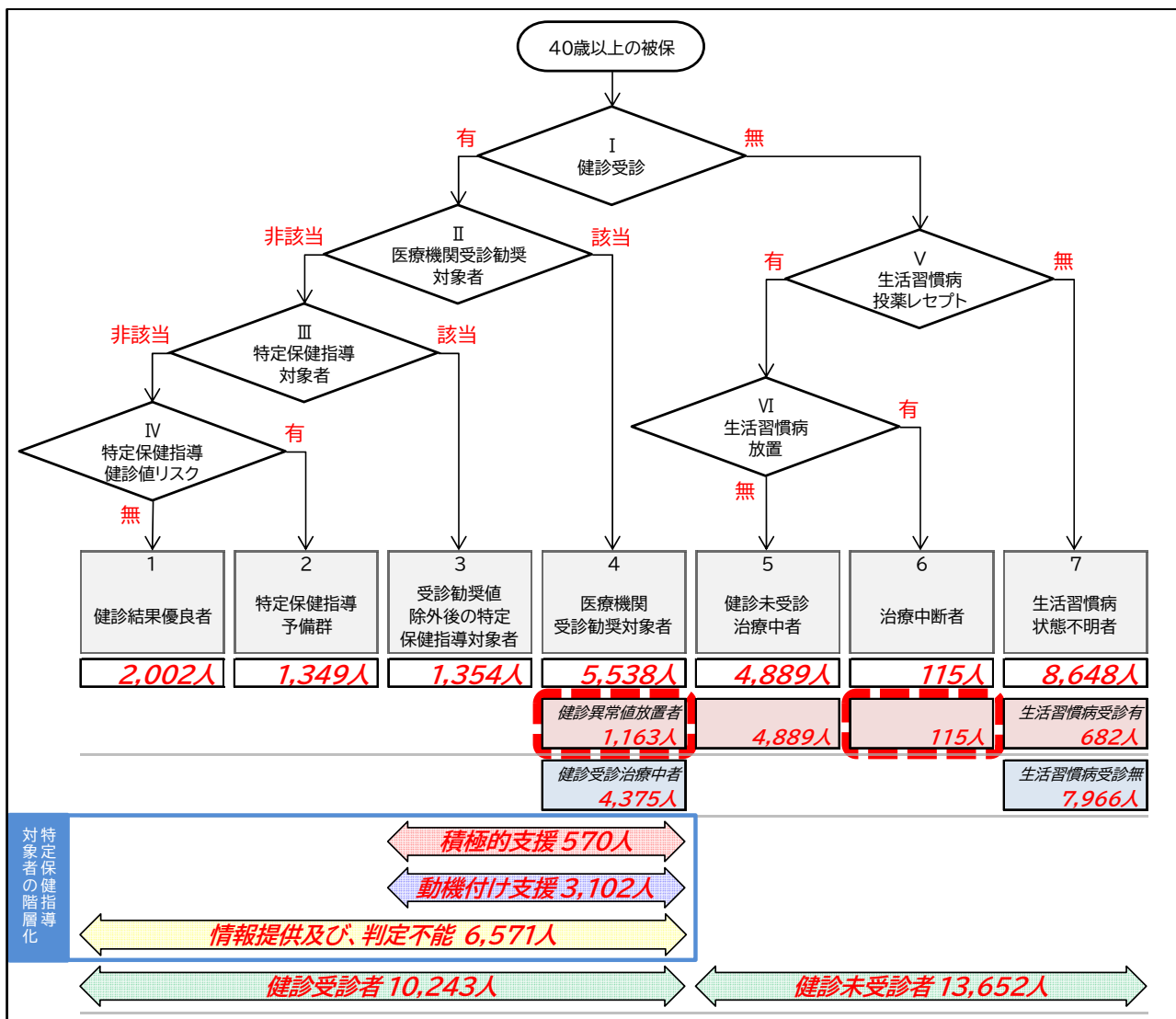
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

## 4. 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行います。以下は、40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類した結果を示したものです。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループです。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。  
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年5月～令和5年2月健診分(10か月分)。  
 資格確認日…令和5年3月31日時点。  
 各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。

## 5.糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

### (1)人工透析患者の実態

人工透析患者の分析結果を以下に示します。「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し、集計しました。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、72.2%が生活習慣を起因とするものであり、67.1%がⅡ型糖尿病を起因として透析となる糖尿病性腎症であることが分かりました。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

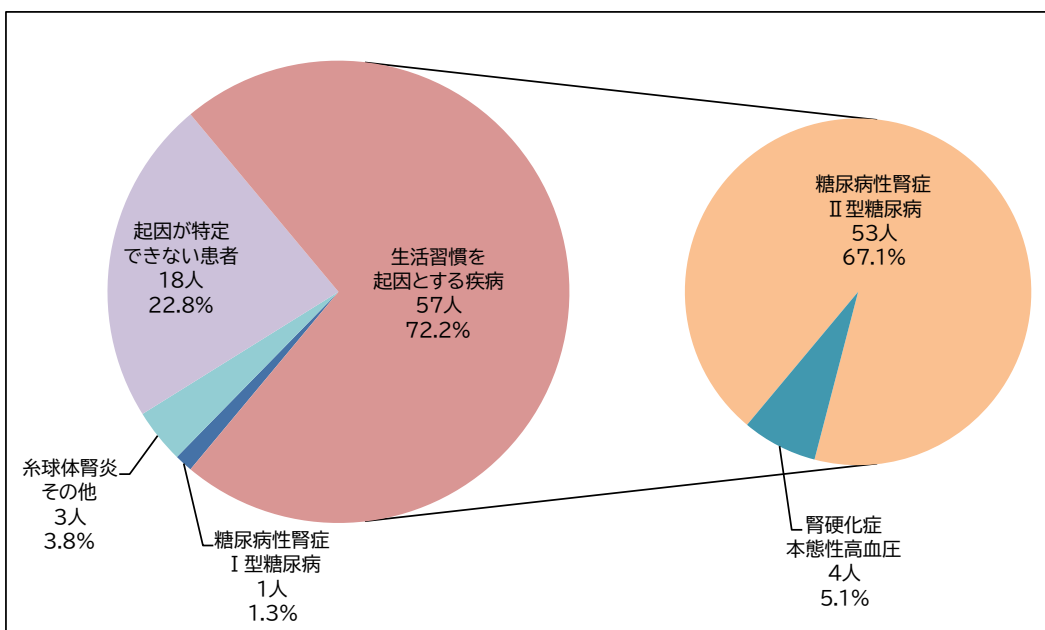
透析療法の種類	透析患者数(人)
血液透析のみ	70
腹膜透析のみ	6
血液透析及び腹膜透析	3
透析患者合計	79

### 透析患者の医療費

透析患者の起因	透析患者数(人)	医療費(円)		
		透析関連	透析関連以外	合計
透析患者全体	79	420,284,210	44,081,000	464,365,210
患者一人当たり医療費平均		5,320,053	557,987	5,878,041
患者一人当たりひと月当たり医療費平均		443,338	46,499	489,837

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

### 透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

\*割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## 6. 受診行動適正化指導対象者に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要となります。以下は、指導対象者数の分析結果を示したものです。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)のレセプトデータを用いて分析しました。

### 重複受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複受診者数(人) ※	10	14	18	16	15	15	12	22	19	13	20	24
12カ月間の延べ人数											198人	
12カ月間の実人数											131人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※重複受診者数…1か月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

### 頻回受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
頻回受診者数(人) ※	152	129	141	124	110	134	131	120	118	92	103	144
12カ月間の延べ人数											1,498人	
12カ月間の実人数											461人	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※頻回受診者数…1か月間で同一医療機関に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

### 重複服薬者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複服薬者数(人) ※	18	51	66	69	60	61	68	75	89	88	80	89
12カ月間の延べ人数											814人	
12カ月間の実人数											412人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

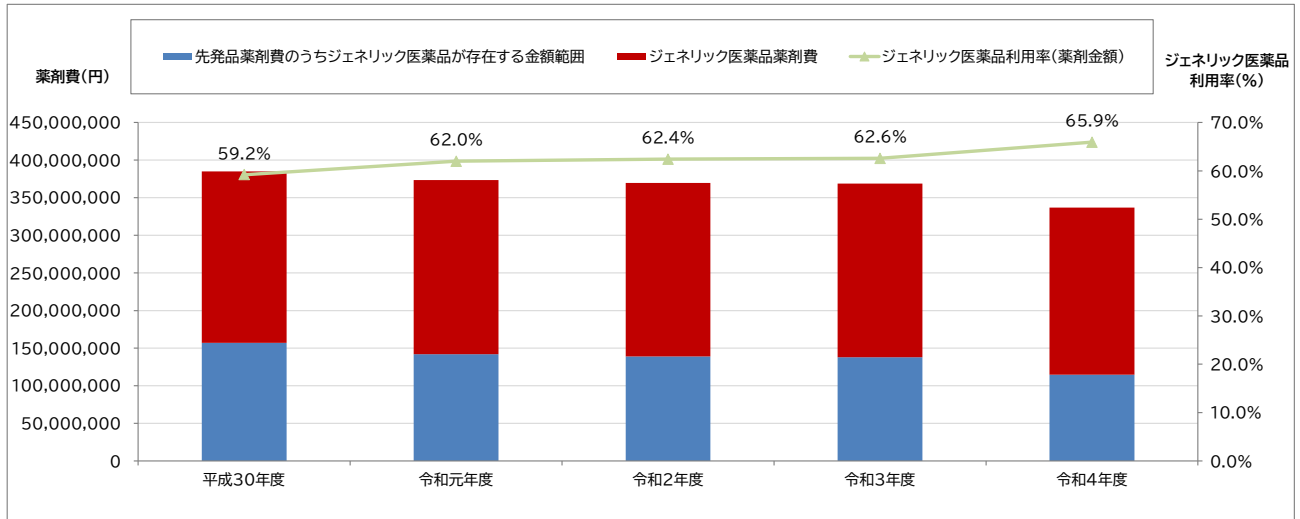
※重複服薬者数…1か月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

## 7.ジェネリック医薬品利用率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し、薬剤費の削減を図ります。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点があります。

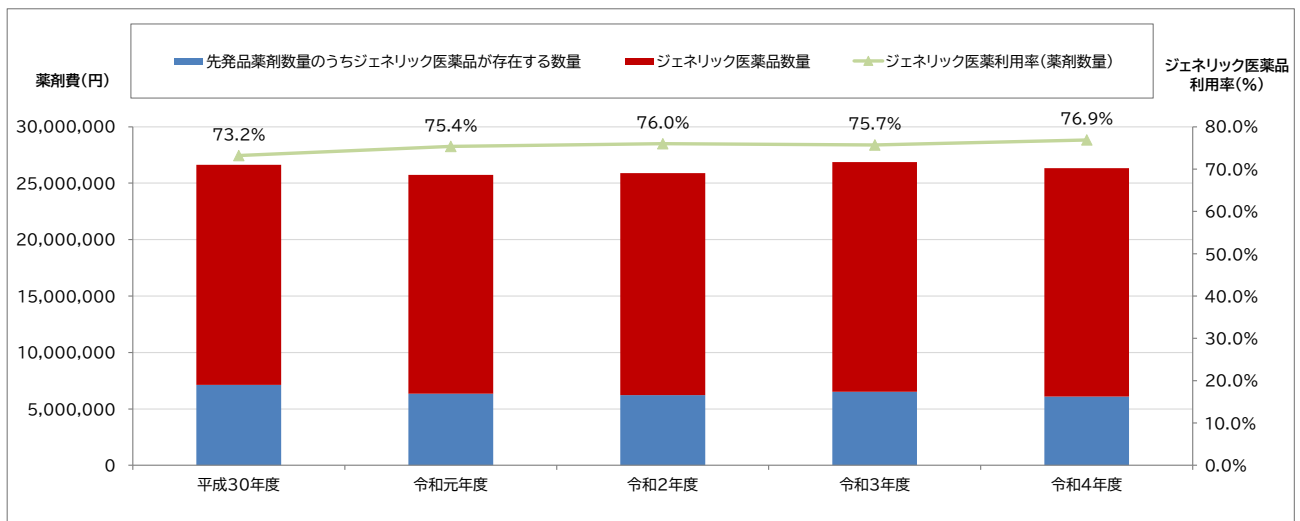
以下は、年度別の状況について示したものです。令和4年度のジェネリック医薬品利用率は、金額ベースでは65.9%、数量ベースでは76.9%となっています。

### ジェネリック医薬品利用率(金額ベース)



出展:愛知県国民健康保険団体連合会提供資料「保険者別削減効果実績」

### ジェネリック医薬品利用率(数量ベース)



出展:愛知県国民健康保険団体連合会提供資料「数量シェア集計表」

## 8.長期多剤服薬者に係る分析

医薬品の多剤服薬は、薬の飲み忘れ、飲み間違い等の服薬過誤や、副作用等の薬物有害事象発生につながるおそれがあります。薬物有害事象の発生リスクは6種類以上の服薬で特に高まるとされており、高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れ、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等があります。複数疾病を有する高齢者においては、特に注意が必要です。

本分析では、服薬状況を把握し、適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行います。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている対象者のうち、基準月(令和5年3月)に6種類以上の内服薬を服用している長期多剤服薬者は1,463人となっています。

### 薬剤種類数別長期服薬者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	6,874	1,494	1,737	1,950	1,846	2,828	5,500	8,540	30,769	
薬剤種類数	2種類	53	10	11	15	21	32	81	129	352
	3種類	77	16	23	28	26	52	110	209	541
	4種類	32	13	22	24	28	48	124	213	504
	5種類	34	8	25	23	23	41	93	210	457
	6種類	27	6	17	18	19	43	84	176	390
	7種類	10	7	12	13	20	17	68	132	279
	8種類	14	12	3	10	11	31	46	102	229
	9種類	15	5	6	14	9	15	35	73	172
	10種類	7	4	7	3	6	12	31	46	116
	11種類	3	2	5	7	6	10	21	33	87
	12種類	5	5	4	10	4	5	7	21	61
	13種類	5	3	2	1	5	4	1	10	31
	14種類	0	1	2	1	2	4	3	9	22
	15種類	1	1	3	1	0	1	1	3	11
	16種類	0	5	2	2	1	1	2	5	18
	17種類	1	1	0	1	5	0	0	2	10
	18種類	1	0	1	2	2	1	2	1	10
	19種類	3	1	1	1	1	1	0	3	11
	20種類	1	0	1	0	4	0	1	0	7
	21種類以上	2	0	1	0	3	1	0	2	9
	合計	291	100	148	174	196	319	710	1,379	3,317



長期多剤服薬者数(人)※	1,463
--------------	-------

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年12月～令和5年3月診療分(4か月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(15日)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

参考資料:日本老年医学会「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」



# 特定健康診査・特定保健指導の現状

## 1. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

### (1) 特定健康診査

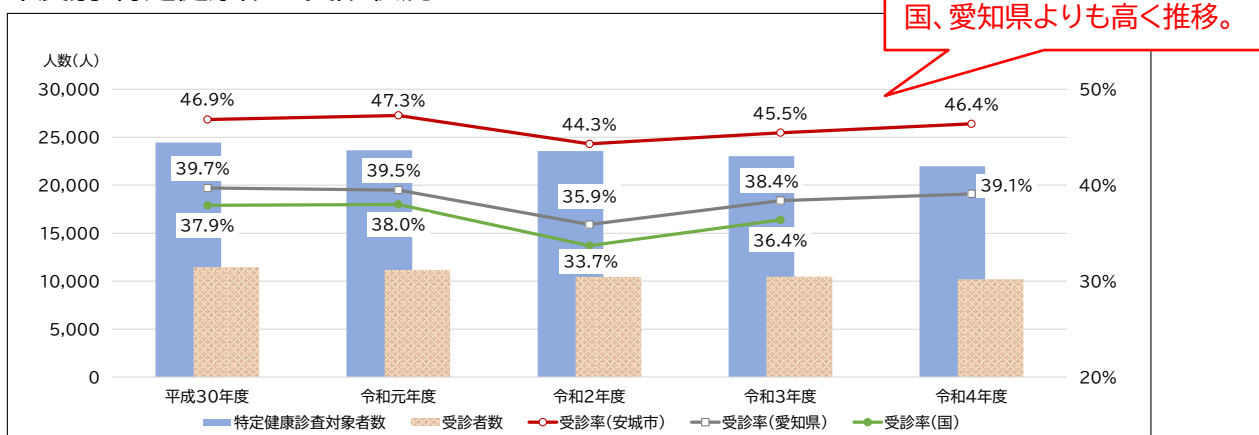
本市の平成30年度から令和4年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示したものです。令和4年度の特定健康診査受診率46.4%は平成30年度46.9%より0.5%減少しています。

#### 年度別 特定健康診査受診状況

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
安城市	対象者数(人)	24,463	23,643	23,568	23,038	21,984
	受診者数(人)	11,464	11,178	10,446	10,477	10,202
	受診率	46.9%	47.3%	44.3%	45.5%	46.4%
(参考)愛知県受診率		39.7%	39.5%	35.9%	38.4%	39.1%
(参考)国受診率		37.9%	38.0%	33.7%	36.4%	

出典:法定報告値

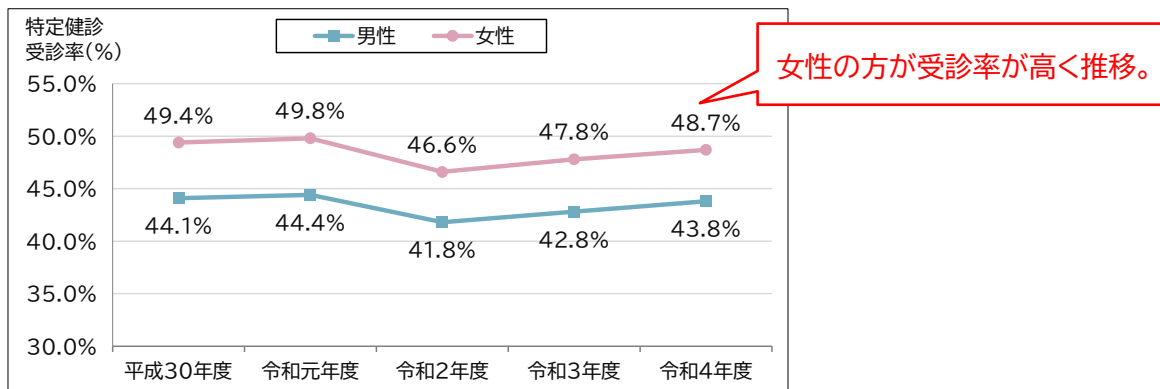
#### 年度別 特定健康診査受診状況



出典:法定報告値

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の令和4年度受診率は平成30年度より0.3%減少しており、女性の令和4年度受診率は平成30年度より0.7%減少しています。

#### 年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:法定報告値



## (2)特定保健指導

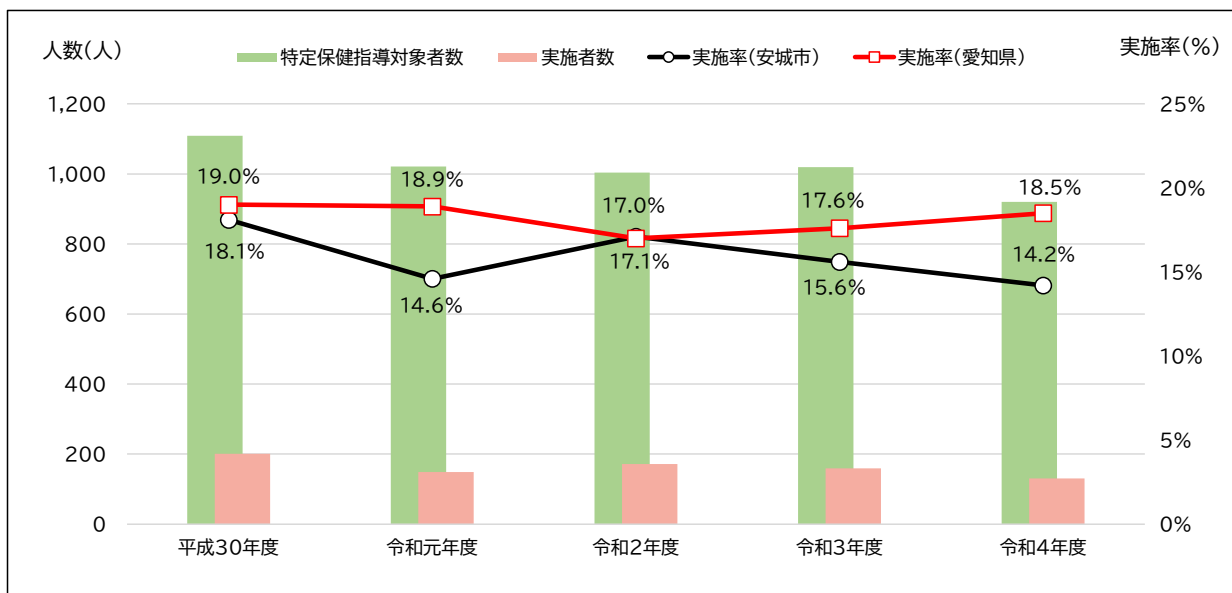
本市の令和元年度から令和4年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示したものです。

### 年度別 特定保健指導実施状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
積極的支援対象者数(人)	207	198	201	198	188
動機付け支援対象者数(人)	902	823	803	821	732
特定保健指導対象者数(人)	1109	1021	1004	1019	920
積極的支援実施者数(人)	8	16	10	12	22
動機付け支援実施者数(人)	193	133	162	147	109
特定保健指導実施者数(人)	201	149	172	159	131
特定保健指導実施率	18.1%	14.6%	17.1%	15.6%	14.2%
(参考)愛知県実施率	19.0%	18.9%	17.0%	17.6%	18.5%
(参考)国実施率	28.8%	29.3%	27.9%	27.9%	

出典:法定報告値

### 年度別 特定保健指導実施状況



出典:法定報告値

## 2.特定健康診査に係る分析結果

### (1)メタボリックシンドローム該当状況

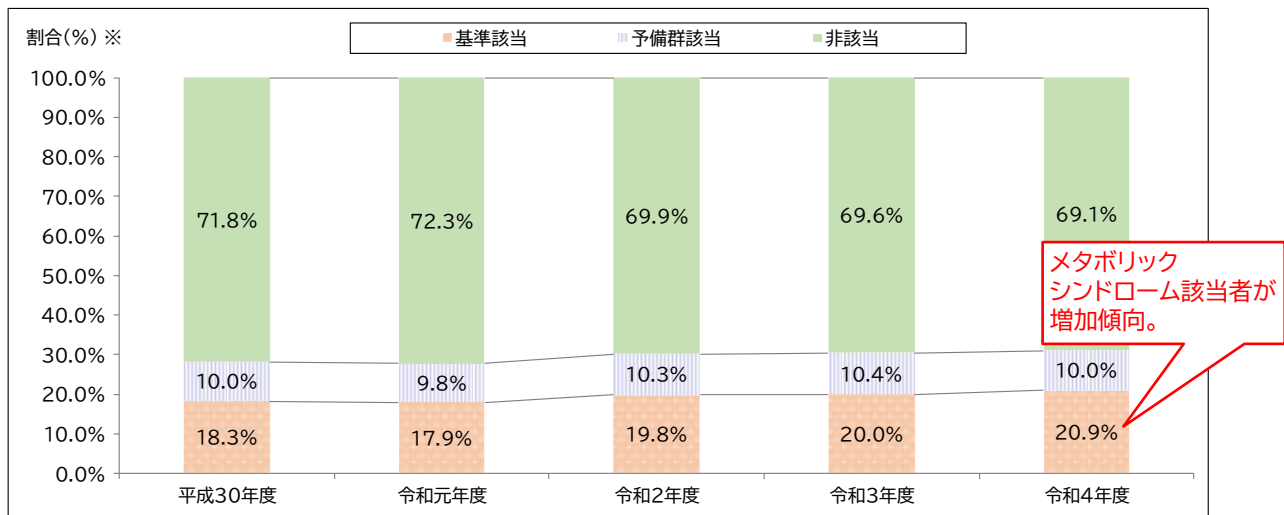
平成30年度から令和4年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示したものです。令和4年度を平成30年度と比較すると、基準該当は平成30年度より2.6%増加しており、予備群該当10.0%はほぼ横ばいとなっています。

#### 年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数(人)
平成30年度	10,127
令和元年度	10,213
令和2年度	9,836
令和3年度	10,232
令和4年度	10,243

年度	基準該当		予備群該当		非該当	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成30年度	1,850	18.3%	1,008	10.0%	7,269	71.8%
令和元年度	1,829	17.9%	1,003	9.8%	7,381	72.3%
令和2年度	1,946	19.8%	1,018	10.3%	6,872	69.9%
令和3年度	2,046	20.0%	1,064	10.4%	7,122	69.6%
令和4年度	2,145	20.9%	1,024	10.0%	7,074	69.1%

#### 年度別 メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク(①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

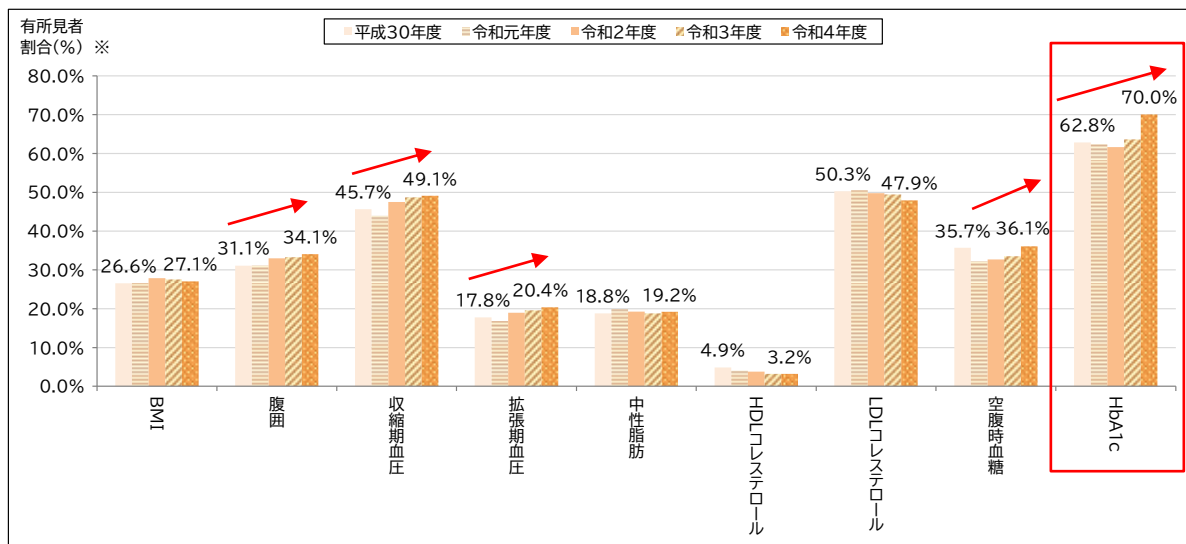
③血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

## (2) 有所見者割合

平成30年度から令和4年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示したものです。令和4年度を平成30年度と比較すると、各項目で増加傾向が確認できます。特にHbA1cは平成30年度～令和4年度にかけて7.2%と、大きく増加しています。

### 年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

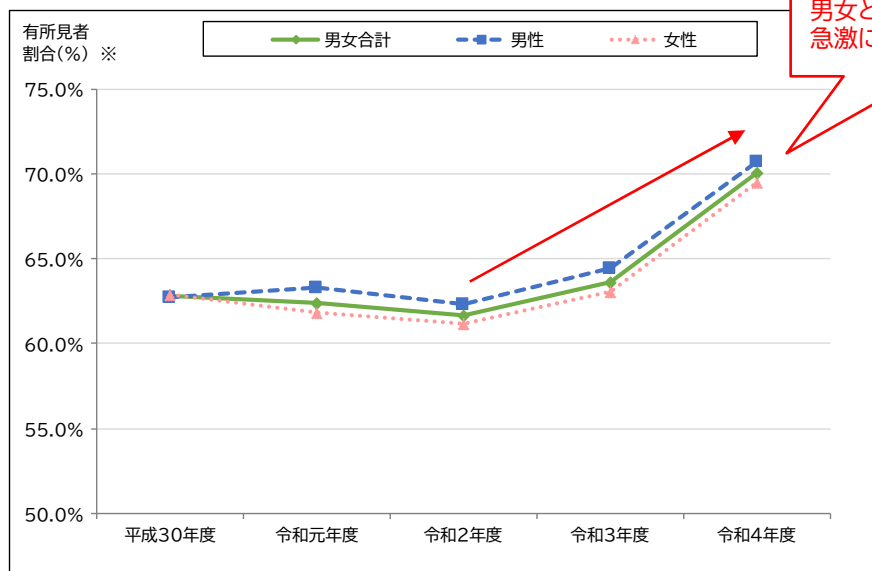
BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dL以上、HDLコレステロール:40mg/dL未満、LDLコレステロール:120mg/dL以上、

空腹時血糖値:100mg/dL以上、HbA1c:5.6%以上

### 年度別 有所見者割合の推移(HbA1c)



男女ともに令和2年度より急激に増加。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を40歳～75歳の範囲で分析対象としている。

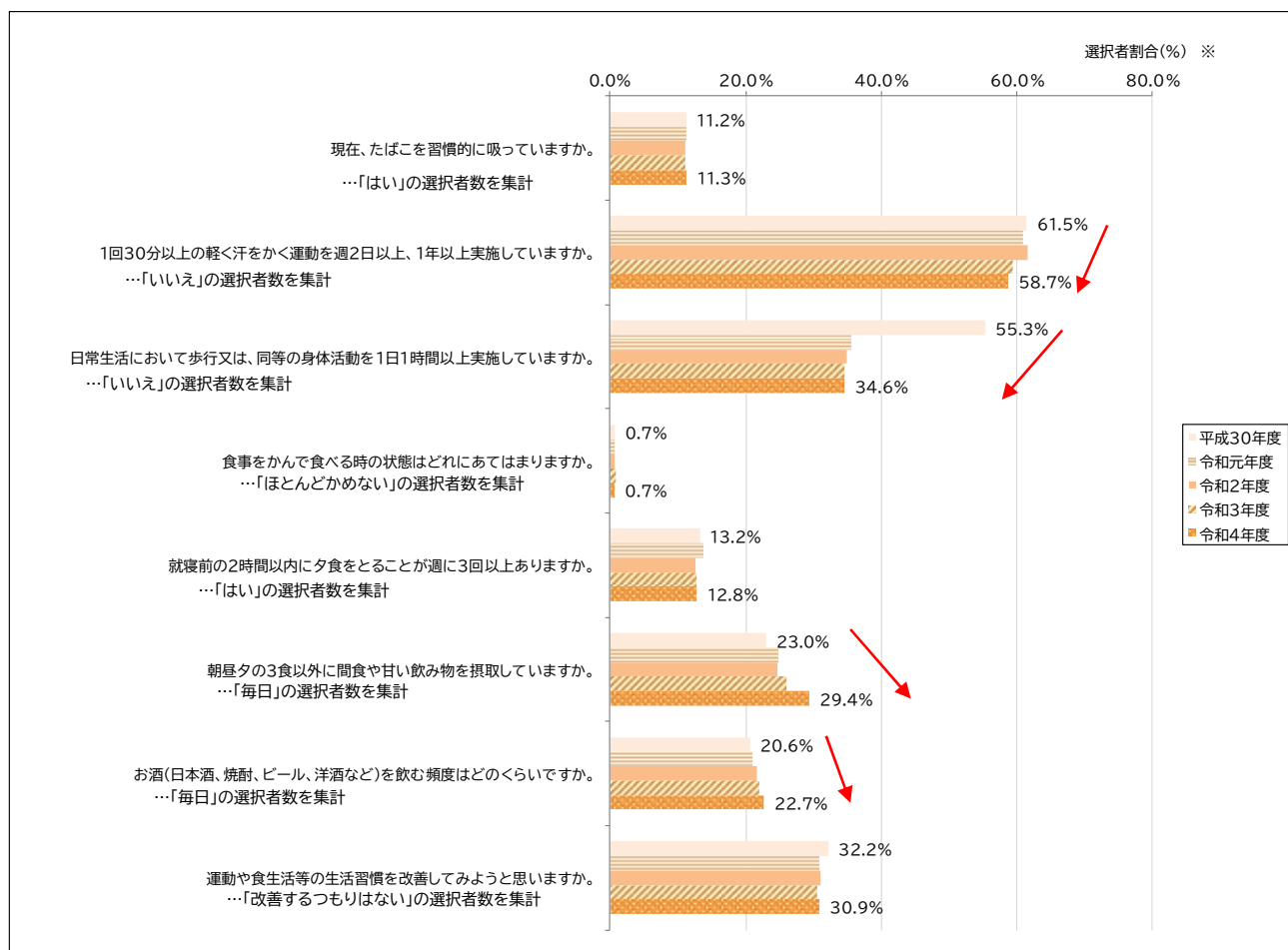
年齢基準日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人で、保健指導判定値を超えている人の割合。

### (3) 質問別回答状況

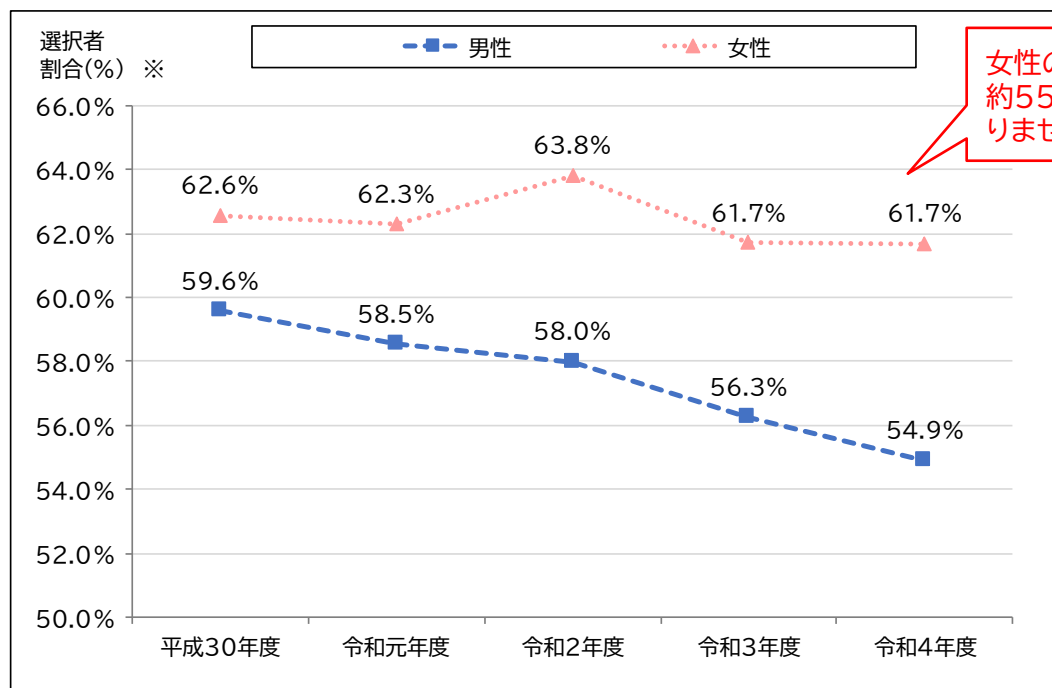
平成30年度から令和4年度における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合を示したものです。令和4年度を平成30年度と比較すると、間食や甘い飲み物を摂取する人の増加が確認できます。

#### 年度別 対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60か月分)。  
資格確認日…各年度末時点。

## 年度別「1回30分以上の運動習慣」のない人の割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

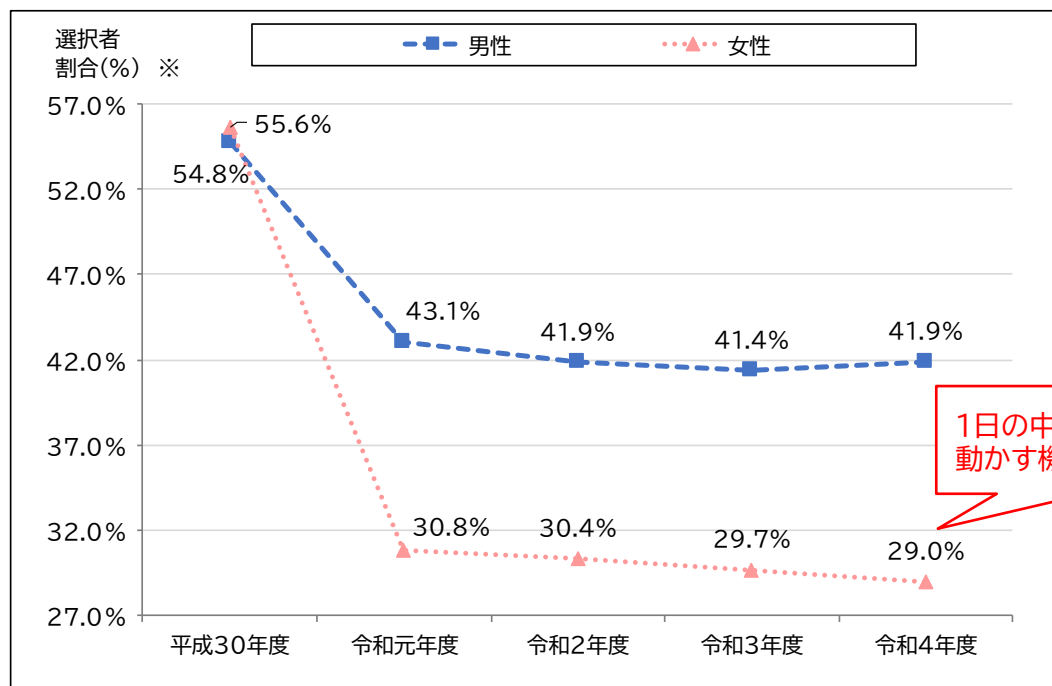
「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問に対し「いいえ」を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、「いいえ」を選択した人の割合。

## 年度別「1日1時間以上の身体活動」のない人の割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

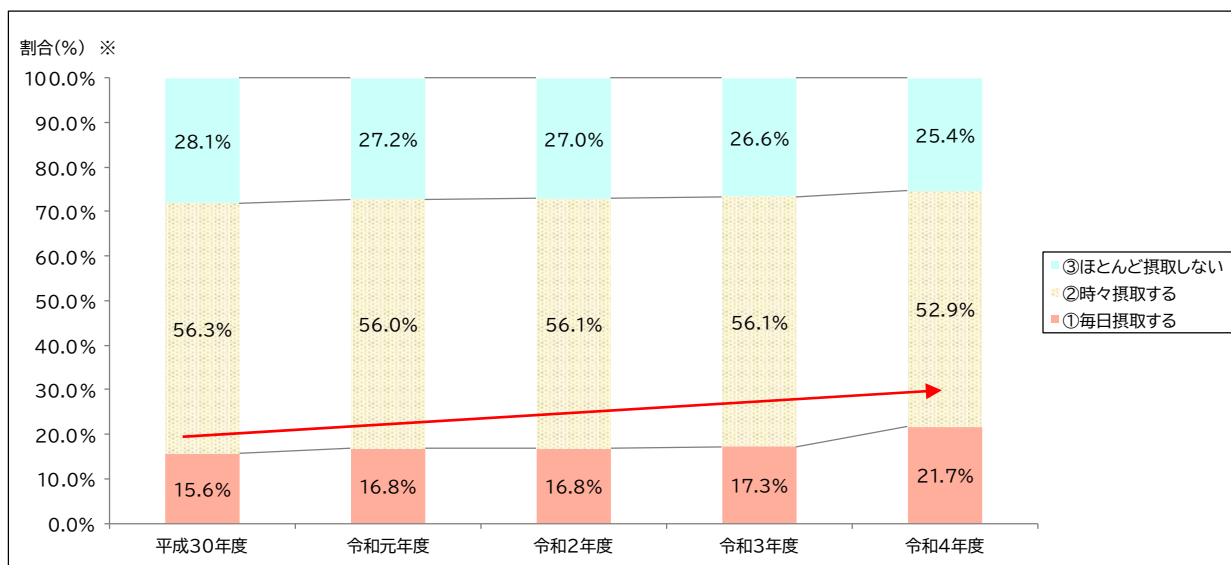
「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問に対し「いいえ」を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、「いいえ」を選択した人の割合。

## 年度別 朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の摂取の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60か月分)。

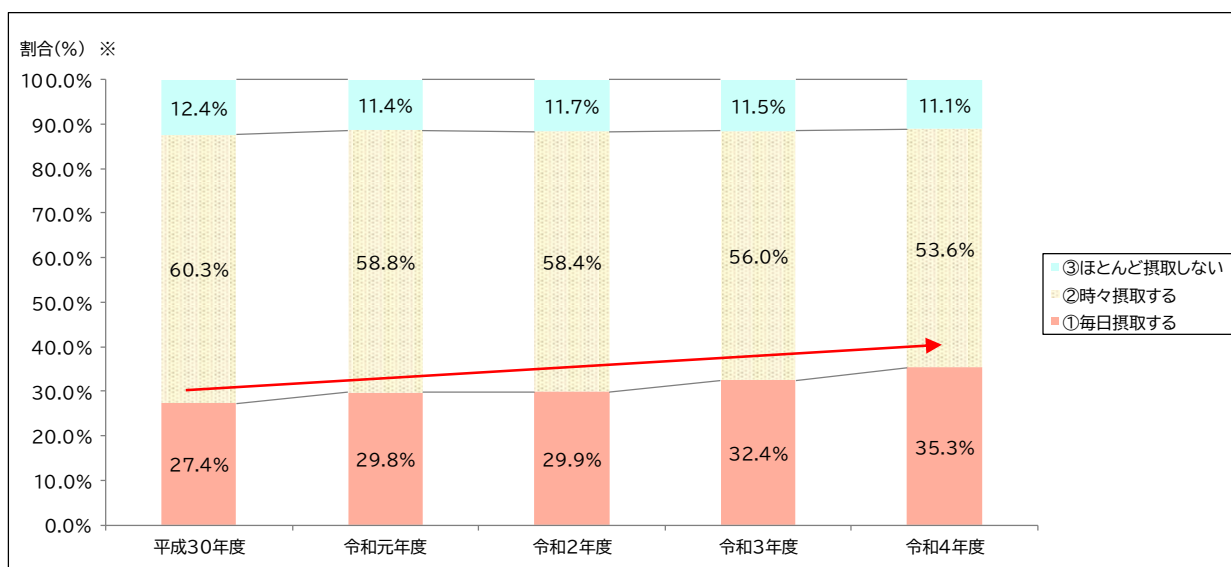
資格確認日…各年度末時点。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を40歳～75歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※割合…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

## 年度別 朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の摂取の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を40歳～75歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※割合…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。